


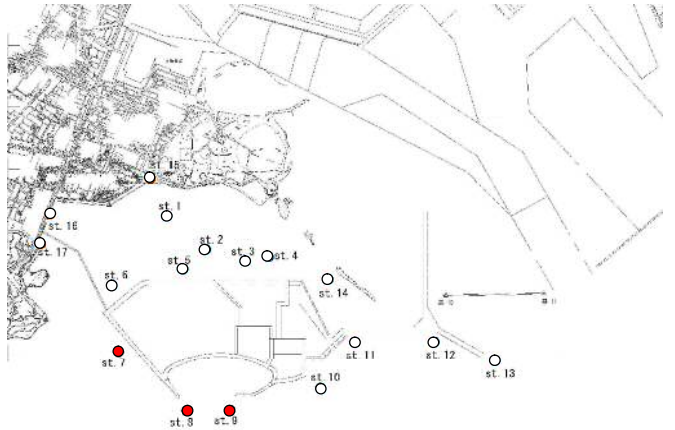
第9回(12月期モニタリング/フィードバック 月例会議)

対象期間:平成25年12月1日～平成25年12月31日 那覇港湾・空港整備事務所

		異常確認の有無	工事との関連性	対策の検討
目視観察結果	流入部調査地点の最高値は、12月17日PMのst.17で169mg/Lであった。 クビレミドロ監視地点の最高値は、12月17日PMのst.1で24mg/Lであった。 工事の濁り監視地点の最高値は、12月18日PMのst.4で7.1mg/Lであった。 12月に基準値を超過したのは、12月3日、17日であった。 基準を超過した監視地点は、st.1、st.2であり、その他の監視地点では工事監視基準値を満足していた。		12月の工事内容は、木護岸ではサンドコンパクションパイル打設作業、新港地区泊地では浚渫・土運搬作業、仮設棧橋では新港地区の浚渫土の揚土作業が行われていた。また、いっえ護岸ではサンドコンパクションパイル打設作業が開始された。	・特になし
	水質調査結果 詳細結果	クビレミドロ監視地点基準値 【st.1～3: SS=7mg/L】	12/3 st.2(PM 上げ潮時),12/17 st.1(PM 上げ潮時)で工事監視基準値を超過した。 平均値は1.7mg/L、<1～24mg/Lの範囲で推移していた。	工事監視基準を超過した要因としては、12/3については、 ・当日、海上作業はおこなわれていなかった。 ・工事監視基準を超過した要因としては、測定時の水深が1.7mと浅く、風向は北東、風力は1程度、波高は0.1m程度あり、上げ潮時の底質の巻き上げであると推測される。 12/17については、 ・気象庁の胡屋観測所(流入河川上流部)では、13時に12.5mm、14時に15mmの降水量を記録しており、この雨の影響で流入部st.16、st.17から濁水が流入し周辺海域の濁りが確認された。 工事監視基準を超過した要因としては、降雨による流入部からの濁りが原因であると推測される。
工事の濁り監視地点基準値 【st.4～6、10～14: SS=11mg/L】		期間中は、全地点で工事監視基準値を満足した。 平均値は1.4mg/L、<1.0～7.1mg/Lの範囲で推移していた。		
流入部負荷量の調査地点		SS=11mg/Lを超えた回数: st.15=58計測中35回(3.5～169mg/L) st.16=58計測中27回(3.7～67mg/L) st.17=58計測中18回(3.2～81mg/L) SS=50mg/Lを超えた回数: st.15=58計測中1回 st.16=58計測中2回 st.17=58計測中2回		
流入水路部調査地点(st.15、st.16、st.17)は監視地点ではないため、基準値は設定されていない。		st.15:12/9 (AM 上げ潮時)169mg/Lが最大値であった。前日0mm、当日14.0mmの降雨が確認され、濁水流入もみられた。 st.16:12/17 (PM 上げ潮時)67mg/Lが最大値であった。前日4.0mm、当日54.5mmの降雨が確認され、濁水流入もみられた。 st.17:12/17 (PM 上げ潮時)81mg/Lが最大値であった。前日4.0mm、当日54.5mmの降雨が確認され、濁水流入もみられた。		
基準超過時の気象概況	<ul style="list-style-type: none"> ・12月3日は、風向は北、風力は0～1、波高は0～0.1m程度であった。前日0mm、当日0mmであった。 ・12月17日は、風向は南、風力は4、波高は0～0.2m程度であった。前日4.0mm、当日54.5mmであった。 			
基準超過時の工事状況	基準超過時の工事内容は以下の通りであった。 地盤改良工事(木護岸):サンドコンパクションパイル打設作業(12/17) 護岸地盤改良工事(いっえ護岸):サンドコンパクションパイル打設作業(12/3、17) 新港地区泊地浚渫工事、浚渫・土運搬作業(12/3) 揚土工事:新港地区浚渫土揚土作業(12/3)		【調査位置図】 	

第9回(12月期モニタリング/フィードバック 月例会議)

対象期間:平成25年12月1日～平成25年12月31日 沖縄県調査分

		異常確認の有無	工事との関連性	対策の検討
目視観察結果	<p>調査地点の最高値は12月9日(PM)のst.7で観測された3.4mg/Lであった。 12月9日にst.7～9で、他の日と比べると高い値が観測されたが、補足調査の結果、濁りの原因は工事ではなく、波浪による濁りであることが確認された。 st.7は、下げ潮に浅海域から流出する濁りの影響を受ける傾向が見られた。 全ての地点において工事監視基準を満足していた。</p>			・特になし
	水質調査結果	<p>工場の濁り監視地点基準値 【st.7～9: SS=11mg/l】</p> <p>全ての地点において工事監視基準値を満足していた。 <1.0～3.4mg/Lの範囲で推移しており、平均値は1.1mg/Lであった。</p>		
基準超過時の気象概況	<p>全ての地点において工事監視基準値を満足していた。</p>		<p>【調査位置図】</p> 	
基準超過時の工事状況				

